

(別添)

2019年6月27日

NITE(ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中国支所

News Release

エアコン・扇風機の事故に注意

～6月から急増！火災事故～中国5県版～

1. エアコン・扇風機の事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、エアコン^{※2}・扇風機^{※3}の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2013年度から2017年度までの5年間に27件^{※4}ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) エアコンにはルームエアコン(室外機、室内機)に加え、コンプレッサーを使用する冷温風機も含む。

(※3) 扇風機にはファンの見えないものやサーキュレーターを含む。USB接続の扇風機は含まない。

(※4) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」エアコン・扇風機の事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」エアコン・扇風機の事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2013年度			2	2	4	8
2014年度		1	1	4		6
2015年度		1	5			6
2016年度		1		2		3
2017年度			1	2	1	4
合計	0	3	9	10	5	27

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」エアコン・扇風機の事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」エアコン・扇風機の事故発生件数

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡						0
	重傷						0
	軽傷					1	1
物的被害	拡大被害		3	7	10	3	23
	製品破損			2		1	3
被害なし							0
合計		0	3	9	10	5	27

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」エアコン・扇風機の事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」エアコン・扇風機の事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			2	3	1	6
B：製品及び使い方に問題があったもの				1		1
C：経年劣化によるもの			1	2		3
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの			2		1	3
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの		1	3	1	1	6
E：誤使用や不注意によるもの						0
F：その他製品に起因しないもの			1		2	3
G：原因不明のもの（G3を除く）		2		1		3
H：調査中のもの				2		2
合計	0	3	9	10	5	27

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生したエアコン・扇風機の事故の主な事例を示します。

① コネクター部でトラッキング現象が発生し、発火。

2013年6月（広島県、60歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該エアコンのファンモーターコネクター部にエアコンクリーニング時の洗浄成分が浸入したか、クリーニング後のファンモーターの再組立時にコネクターの位置を正規位置に戻さなかったことにより結露水が浸入しやすい状態となったため、コネクター部でトラッキング現象が発生し出火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、事業者のホームページにおいて、「エアコンの内部洗浄は、高い専門知識を有する業者に依頼をしてください。お買い上げの販売店、メーカーのサービス窓口にご相談されると安心です。」と注意喚起している。

② エアコン電源コードの手より接続（加工による途中接続）により接触不良が起き、発火。

2015年2月（岡山県、年齢不明・女性、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

施工業者が電源コードを途中で別のコードと手より接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、発火したものと推定される。なお、取扱説明書及び据付説明書には、「電源コードは途中接続しない。感電、火災の原因になる。」旨、記載されている。

③ 扇風機の長期使用によりモーター部の劣化し、発火。

2015年7月（岡山県、50歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該扇風機は、長期使用（約47年）により、モーター用コンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡したため出火に至ったものと推定される。

3. エアコン・扇風機の事故の実験映像について

エアコン・扇風機の事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所
担当者 : 灰川、木下、折田
電話 : 082-211-0411

以上